

ひろげる つなぐ かえる

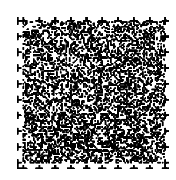
2013年2月25日発行
通巻 171 号

NPO法人
a trio
ア・トリオ

トリオミッション
.....
幸せな仕事をしている
人達で三重を
一杯にする

——トリオミッションのために！——
※ 未来に希望をもつひと
※ 生きていることを楽しく感じるひと
※ 自分を信じて、社会で活かすひと
※ 世の中の多様性を受け入れて、
世界中の人と助け合うひと
※ 変化することを恐れないひと
※ 自分の働き方、生き方のビジョンを
持つひと こうしたひとに私はなる

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



熱中手帖。-これまで×これから- vol.9

NPO法人 a trio

理事長 山口 友美

熱中手帖。

—これまで×これから— vol.9

三重を「幸せな仕事」をしている人たちで
いっぱいになりたい

アトリオ
NPO 法人 a trio

理事長 山口 友美

「個人」「組織」「地域社会」のつなぎ役になる

団体設立のきっかけと経緯をお聞かせください。

私たちは、三重の人々が仕事を通して自己実現し、地域活性化に貢献すること、つまり「幸せな仕事」をしている人たちでいっぱいになることをミッションに、平成 17 年に法人を設立しました。当初は若者にもっとベンチャーマインドを持ってもらいたいと、ビジネスアイデアコンテストや異業種交流会などを開催していました。

その頃は主に「個人」の生き方や働き方のサポートをしていたのですが、活動するなかで、働き方というのは経営者の方々と一緒に考えていかないと変わらない、という思いに至り、会社という「組織」にも目を向けるようになりました。

しかし「組織」にも、会社以外に NPO 法人や学校、行政機関などさまざまな形があり、それぞれが「地域

社会」と密接につながっています。幸せな仕事をする、ということ考えたとき、個人の能力でも会社や雇用の中でも完結する話ではなかったんです。そこで、それまで個人対象だった活動から、地域の中でより良い仕事をしていくための活動へと事業を拡げ、「個人」「組織」「地域社会」をつなぐ“ハブ”になるという今の形にたどり着きました。

*ハブ：つなぎ役

さまざまな体験を通して、自分の将来のビジョンを確立してほしい

現在取り組まれている教育協働事業の目的とは？

現在の主な取り組みとしては、学校教育現場と地域社会を結ぶ協働事業を行っています。

私は長年キャリアコンサルタントとして、学校や企業などで、人材育成に関わってきました。そこで

感じたのは、小学校・中学校・高校・大学・社会人と、人のライフステージはすべてつながっており、教育もまたつながっているということです。しかし、各ステージに関わる団体同士はそれぞれに立場や役割があるため、連携がうまくいかなかったり、できないことがあったりしました。そんな行き詰まりも見えてきたなか、地域の中で人を育てる必要性を感じていました。これまで作ってきたネットワークを軸にすれば、私たちがつなぎ役になれると考え、「社会を支える人をつくろう」という思いのもと、協働事業を提案したのが始まりです。

最初に行った協働事業は、高校生を対象としたインターンシップ事業「三重チャレ」です。広域公募型なので生徒さんのモチベーションも高く、体験後の発表会も感動的でした。

そこからさらに発展してできたのが「しごと密着体験事業」です。インターンシップと大きく異なる特徴は、「働いている人を観察する」ということ。仕事内容について説明を受けた後、プロの仕事を間近で2時間じっくり観察します。職業選択や進路選択の前に、社会にはいろんな仕事があることを“働く人を通して”感じてもらおう、という取り組みです。実際の職場を知ることによってどんな勉強をすれば良いかなど、自分の将来のビジョンにも結びつきますし、働くことに対する価値観も生まれるでしょう。なので、企業側の人選も重要になってきます。自分たちが持つ“働く価値観”を生徒さんたちに伝えないといけませんからね。実際、そういう点で社員教育の一環としての効果もあるんですよ。

これらの取り組みは家庭・学校・行政・地域、つまり「個人」「組織」「地域社会」それぞれに関わる方々が教育を地域に対する投資と考え、つながり協力しあうことで実施できました。個々に支援するのではなく、それぞれを「つなぐ」ことが大事なんだ、ということも改めて感じましたね。このような活動を一つずつ積み重ねることで、私たちが目指すミッションに近づいていくのかなと思います。

結局、働き方は生き方なんです。生き方を確立し

ないと働き方は決まらないし、ブレてしまいます。この協働事業には、いろんな体験の中から自分たちの生き方や働き方を確立してほしいという思いを込めているんですよ。

ネットワークを拡げ、コーディネートを発展させていきたい

今後の展望についてお聞かせください。

NPOは、自分たちが持っている“資源を活かした強み”をもって、地域を継続的に見守っていける組織です。私たちはそんなNPOであることに誇りを持っています。また、みんなが「幸せな仕事」をするためには、キャリア教育の概念や必要性を、企業や家庭の方々それぞれの組織文化に合わせた分かりやすい言葉で伝え、継続的にいろいろな団体をサポーターとしてコーディネートしていくことが役目だと考えています。

だから、今後は「三重チャレ」や「しごと密着体験」の事業を三重県下全域に広めていきたいですね。また、違う形のインターンシップとして、大学生と社会人を対象とした事業や、家庭教育への発信として保護者と関わる活動もしていきたいなと思いますし、今までのネットワークを活かして、企業とNPO、企業と行政など、産官学の中でさまざまなコーディネートを発展させていけたら、とも思います。現在、学生、会社員、一般の方を対象に、三重チャレサポーターを募集しています。「三重・教育CSR」と検索してHPをご覧くださいただいたら嬉しいです。



三重大学での会議のようす

DATA

NPO 法人 ア トリオ a trio

住 所 〒514-1125
三重県津市久居元町2361-2
MC第一ビル101
T e l 059-253-7657
F a x 059-253-7659
E - m a i l info@a-trio.net

ホームページ <http://a-trio.net/>
代 表 者 理事長 山口 友美
団体設立年月日 2003年12月1日
NPO法人化年月日 2005年2月17日
会 員 数 30名
会 費 個人会員1,000円 法人会員50,000円

助成金情報



子ども



環境



まちづくり



災害



人権



福祉



地域

子ども

2013 年度 (第 11 回) ドコモ

市民活動団体への助成

受付期間 3 月 29 日 (金) 必着

対象団体 (1) 日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で NPO 法人などの法人格を有するもの、または取得申請中の団体で 7 月末までに法人登記が完了見込みの団体。

なお、活動実績が 2 年以上であること (法人格を有する以前の活動実績を含む)。

(2) 複数の団体が連携した協働事業の場合は、代表申請団体が上記 (1) の要件を満たしていること。地域の中間支援組織 (NPO 支援センターなど活動支援団体) を代表申請団体とする場合に限り、法人格の有無不問。

対象活動 「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する次のような活動

(1) 不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対しての精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動 (フリースクール・カウンセリングなど)

(2) 児童虐待やドメスティック・バイオレンス (DV)、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動

(3) 非行や地域犯罪などから子どもを守るための支援活動

(4) 子どもの居場所づくり (働く親支援のための安全な保育、子どもの不安や悩みに耳を傾ける相談活動など)

(5) 発達障がい (アスペルガー症候群、LD、ADHD など) を持つ児童の支援活動

(6) 上記 (1) から (5) 以外で「子どもを守る」という視点に立った活動テーマに相応しい支援活動

助成金の額 総額 2,500 万円 (予定)。1 団体あたりの助成額は 50 万円を標準とし、最高 200 万円までの申請を可能とするが、標準額を超える申請の場合は施策内容などを審査のうえ決定。

なお、本助成対象事業で必要な経費の 20% 以上は各団体で自己負担のこと。

応募方法 HP からダウンロードした申請書に必要事項を記入のうえ、簡易書留、宅配便など配達記録が残る方法で送付。

問合せ先 (特活) モバイル・コミュニケーション・ファンド (MCF) 事務局 〒100-6150 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー 29 階

Tel 03-3509-7651 Fax 03-3509-7655

info@mcfund.or.jp

HP <http://www.mcfund.or.jp/admission/action.html>

環境

タカラ・ハーモニストファンド

水と緑を守る活動助成

受付期間 3 月 31 日 (日) 必着

対象団体 助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他機関の構成、選任方法、その他事業の

運営に重要な事項が、特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体。(法人格の有無不問)

対象活動 日本の緑を構成する森林等の陸域、または海、湖沼、河川等の水域の自然環境 (生物の生態把握等も含む) に関する実践的な研究・活動。

① 具体的に着手の段階にある研究・活動

② 営利を目的としない研究・活動

※詳細は HP 参照

助成金の額 総額 500 万円程度、助成件数は 10 件程度

応募方法 HP より申請書様式をダウンロードし、必要事項を記入して捺印のうえ簡易書留で郵送。パソコンで申請書を作成した場合は、郵送分とは別に E-mail でも電子ファイルを送付のこと。

問合せ先 みずほ信託銀行 (株) 京都支店 営業第 2 課 公益信託タカラ・ハーモニストファンド事務局 (明上、赤池) 〒600-8006 京都市下京区四条高倉東入立売中

之町 84

Tel 075-211-6231 Fax 075-212-4915

kyoto-koueki@mizuho-tb.co.jp

HP <http://www.takarashuzo.co.jp/environment/fund/yoko/index.htm>

まちづくり

平成 25 年度『街なか再生助成金』公募

受付期間 3 月 31 日 (日) 当日消印有効

対象団体 主に、まちづくりに寄与する活動・運動・事業を行っている次のいずれかの団体。但し、全国を対象としているグループは対象外。

① 街なかにおける市街地整備を推進するための準備組合・勉強会・協議会等

② 街なかにおける街づくりに関する活動を行う NPO 法人

③ 中心市街地活性化協議会 (法に定めるもの)、まちづくり会社等

※詳細は HP 参照

対象活動 ① 街なかの再生に寄与する土地区画整理事業等の市街地整備を推進する初動期の取組みで、以下のいずれかに該当するもの (重複可)

・ まちづくり構想・計画作成

・ 各種まちづくりのルール等の作成

・ まちづくりを推進するための組織立上げ、組織の活動の推進

・ その他市街地整備の推進に寄与する初動期の取組み (講習会・視察・勉強会・専門家等の派遣・調査活動など)

② 中心市街地活性化基本計画 (旧法の計画を含む) 等の達成に寄与するために実施する、街の新たな魅力・可能性の発掘、資源 (歴史的建造物等) の活用等に関する検討・活動等

助成金の額 1 件あたり 100 万円を上限 (4 ~ 5 件程度)

応募方法 HP より申請書様式 1 ~ 4 および市町村の推薦状をダウンロードし必要事項を記入の上、他の指定書類を添付して郵送。押印を要しない申請書様式 2 ~ 4 に限り E-mail での送付可。

三重県 NPO 法人活動実態調査報告 9

II 調査結果

(8) 認定 NPO 法人化に向けた取組

今月号は「認定 NPO 法人化に向けた取組」の中から、「認定 NPO 法人申請の際に障害になること」についての項目を抜粋して紹介いたします。

■「認定 NPO 法人」とは…

NPO 法人への寄付を促すことにより、活動を支援するために税制上設けられた措置として、NPO 法人のうち一定の要件を満たすものについて、認定を行う制度です。これまでは国税庁長官が認定を行っていましたが、2011 年の法改正により、所轄庁が認定を行う新たな認定制度が創設され、2012 年 4 月 1 日から実施されています。

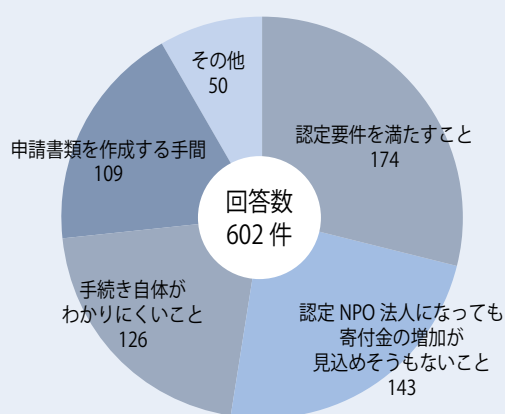
この改正により、「認定基準の緩和」「仮認定制度の導入」などが設けられました。詳しくは、内閣府 NPO ホームページ掲載の資料をご覧ください。⇒ https://www.npo-homepage.go.jp/pdf/201204_nintei-pamphlet.pdf

三重県では、2011 年度まで認定 NPO 法人が 1 団体のみでしたが、今年度に入ってから、法改正後の「仮認定制度の導入」を活用した「仮認定 NPO 法人」が 2 法人生まれています（2013 年 2 月 10 日現在）。

■認定 NPO 法人申請の際に障害になること（複数回答）

「認定 NPO 法人申請の際に障害になること」について、有効回答数 345 団体からの回答は 818 件ありました。不明回答の 216 件を除いた回答は、以下のとおりです。

認定 NPO 法人申請の際に障害になること



今回の法改正において、「認定基準の緩和」として、「寄付金が年平均 3,000 円×100 人」という新しい基準ができましたが、認定要件を満たすことがなかなか難しいようです。

また、「寄付金の増加が見込めそうもない」と感じている法人も多くなっています。本誌 2012 年 11 月号の「三重県 NPO 法人活動実態調査報告 5」で紹介した「資金」の中で、県内 NPO 法人の“寄付”に対する取り組みを紹介しましたが、寄付に取り組んでいる割合は 20.3% と、総数の 1/5 という状況です。このことから、寄付を集める意識の醸成が肝要であると考えられます。

問合せ先 (財) 区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター
街なか再生助成金担当: 田辺
〒102-0084 東京都千代田区二番町 12 番地
12 B.D.A. 二番町ビル 2 階
Tel 03-3230-8477 Fax 03-3230-4514
E-mail mail@sokusin.or.jp
HP <http://www.sokusin.or.jp/machinaka/subsidy/25/subsidy.html>

災害 人権 環境 福祉 子ども 地域

連合・愛のキャンパ 【中央助成】

受付期間 3 月 1 日 (金) ~ 31 日 (日)

対象団体 海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいる NGO・NPO 団体で、構成組織の推薦があるものとする。 ※構成組織一覧は HP を参照

対象活動 ①大規模災害などの救援・支援活動

- ②戦争や紛争による難民救済などの活動
- ③人権救済活動
- ④地球環境保全活動
- ⑤ハンディキャップをもった人たちの活動
- ⑥教育・文化などの子どもの健全育成活動 (除くスポーツ)
- ⑦医療や福祉などの活動
- ⑧地域コミュニティー活動

助成金の額 総事業額と助成希望額を申請

応募方法 HP より申請書をダウンロードして、必要事項をご記入の上、必要な添付資料を添えて郵送。

問合せ先 連合・愛のキャンパ「中央助成」係
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
Tel 03-5295-0513 (連帯活動局: 加藤)
Fax 03-5295-0547

HP <http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/boshuu/2013campa/chuo.html>

E-mail **HP** ホームページ

募集とご案内

第34回あけぼのハウス三重

「あなたは一人ではありません」

乳がん体験者同士がグループに分かれてのお話会

- ①乳がんの手術をして2年以内の方
- ②再発して治療中の方
- ③その他乳がんについてお話したい方

日時 3月1日(金) 12:00～15:00

場所 みえ県民交流センター
ミーティングルームA アスト津3階
(津駅東口隣接ビル)

対象 乳がん体験者ならどなたでも

参加費 200円 ※前日までに申込み

持ち物 ランチ持参

問合せ先 乳がん体験者の会あけぼの会
三重支部

Tel 090-3250-9326 (富岡)

メール minaco3kuro10michi@docomo.ne.jp

笑って元気に!

第49回 日本笑い学会

みえユーモア支部 笑例会

1. 暮らしに活かす落語の笑い

矢野宗宏先生 ユーモアコンサルタント・
日本笑い学会理事

2. ポップン笑句 ～川柳を画像で詠む 新文芸～

説明: 井上 宏先生 日本笑い学会顧問
プレゼンテーション: 岸 潔先生
パソコン教室講師

3. 笑いヨガ: みえユーモア支部・笑い ヨガメンバー

日時 3月2日(土) 14:00～16:00

場所 名張リバーナホール(名張市
元町376 ショッピングセン
ターリバーナ3階)

参加費 無料 ※予約不要・当日参加 OK

問合せ先 日本笑い学会 みえユーモア支部
Tel & Fax 059-232-6409 (中村)

メール waraigakkaimie@gmail.com

楽しみながらボランティア!

四日市ボランティアフェスティ バル2013を開催します!

ボランティアに興味のある人もない人
も、もっと身近にボランティアを!!

①ボランティア体験プログラム

「有機野菜でつなげる輪! 四日市の
おいしい夏野菜と一緒に食べようプ
ロジェクト」(四日市に避難されてい
る方と一緒に食べる夏野菜の種植え
を行います)

②ボランティアがつくる空き缶アート

(「I♡四日市」の文字をつくります。使
用後の空き缶は福祉施設に寄付します)

③ボランティア相談コーナー など

日時 3月3日(日) 10:00～14:00

場所 四日市市民公園(アピタ横)

対象 どなたでも

参加費 無料 ※申込み不要

問合せ先 四日市市社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel 059-354-8144

Fax 059-354-6486

メール y-vc@m3.cty-net.ne.jp

日本一美しいと言われた村の悲しみ

写真展「飯舘村」

「破壊された村の生活」、「避難所生活
の苦楽」、「苦闘する除染作業」、「海外
の人々との交流」、「未来へ向かって進
む村人」

撮影 長谷川健一氏(飯舘村の酪農家)

①みえ県民交流センター

イベント情報コーナー(アスト津3階)

日時 3月9日(土) 10:00～17:00

②津センターパレス地下

市民オープンスペース

日時 3月10日(日)・11日(月)

10:00～19:00

参加費 無料

主催 フォトジャーナリズム展 三重

Tel 059-229-3078

メール photojournalism_mie@yahoo.co.jp

さようなら原発 1000万人アクション

脱原発・持続可能で平和な 社会をめざして

3.9 ほなっさいなら原発 in 四日市(四日市市)

日時 3月9日(土) 13:00～

場所 四日市市民公園

(安島一丁目92-4)

15:00～パレード

主催 放射能ええかげんにせん会

問合せ先 090-8211-5193 (田中)

3.10 さようなら原発 三重パレード(津市)

日時 3月10日(日) 13:30～16:00

場所 津市・お城西公園

(津市役所北隣)

14:30～中電前&市内パレード

15:30～津センターパレス:写真展

「飯舘村」鑑賞&交流会

さようなら原発 3.10 集会 2013(名張市)

日時 3月10日(日) 10:00～16:00

場所 名張産業振興センター アスピア

15:00～16:00 名張の町をパレード

主催 さようなら原発 3.10 集会 2013
実行委員会

問合せ先 0595-64-3098 (浜本)

メール http://sayonara-nukes.org/2013/01/130309_11action/#more-2735

311 命〇ありがとうフェスタ in 伊勢

第4回 原発卒業えじゃないか パレード

日時 3月10日(日)

〇第一部 10:00～11:00

「原発卒業えじゃないかパレード」

・いせ市民活動センター前集合

・外宮参道パレード ※雨天・雪決行

〇第二部 11:00～16:00

「安心安全つながる未来」

(いせ市民活動センター北館 いせシ
ティープラザ1階)

主催 311 命〇ありがとうフェスタ in
伊勢実行委員会

原発卒業えじゃないかパレード

実行委員会

問合せ先 事務局

Tel & Fax 0596-52-5265

HP <https://sites.google.com/site/ejanaika2011/>

園児たちに伝える交通ルール

「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」 ボランティアさん募集

JAF三重支部では、幼稚園児・保
育園児などを対象に、音楽や寸劇等
を通じて楽しく交通安全啓発活動を
展開するボランティア「JAF交通安
全ドレミぐるーぷ」を平成20年3
月に結成しました。

活動内容は、音楽や歌・劇などにあ
わせ、園児たちに交通安全を楽しく
学んでもらうもので、集まった園児
たちと一緒に歌い、劇などを通じ交
通安全に大切な約束事(道路に飛び
出さない・右左右を確認し、手をあ
げて横断歩道を渡る・チャイルドシ
ートを使用するなど)を伝え、安全意
識の啓発を行います。

現在、鈴鹿以南で活動する中勢グ
ループと桑名・四日市方面で活動す
る北勢グループがあります。

・子どもが好きな方

・歌が得意な方

・楽器を演奏できる方

は大歓迎です。私たちと一緒に、歌っ
て踊って楽しく交通安全の輪を広げ
ませんか?

対 象 県内在住の方で年齢性別不問
※交通費はJAF規定に基づき支給

問合せ先 (一社) 日本自動車連盟三重支部
Tel 059-222-2300 (結城)
Fax 059-222-2306

HP 24.jigyo@jaf.or.jp

HP <http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/course/doremi/index.htm>

【環境工房】

ひのきシートでつくる行燈

「ひのきシート」は尾鷲ひのきの赤みがかった木目の美しさを活かした薄いシートです。このシートを使って木の温もりや香りを楽しみながら、行燈をつくります。また現在、森林が抱える問題についても、講師の池田さんにお話していただきます。

ひのきシートを透して優しいあかりが灯る行燈で、ひのきがほのかに香るお気に入りの空間を演出してみませんか？

講 師 池田比早子氏 (特活) 海虹路理事長

日 時 4月13日(土) 13:00～15:30

場 所 三重県環境学習センター分析実習室

対 象 18歳以上の方

募集人数 30名 ※応募多数の場合は抽選(三重県在住の方を優先)

参加費 1,000円(材料費)、ランプ別

持ち物 はさみ・洗濯ばさみ 20本・筆記用具・行燈に付けたい飾り(押し花や切り絵など)

申込締切 3月16日(土)

応募方法 Fax、郵便、E-mailのいずれかで、講座名「ひのきシートでつくる行燈」を明記の上、氏名・郵便番号・住所・Tel・Fax番号を連絡。

問合せ先 三重県環境学習情報センター
〒512-1211 四日市市桜町3684-11

Tel 059-329-2000

Fax 059-329-2909

HP info@eco-mie.com

HP <http://www.eco-mie.com/kouza/andon/index.html>

チェーンビス

Chain Biz プロジェクト主催セミナー第3弾

【応援のかたち】想いがめぐる地域社会とは？

意志あるお金を融資した「コミュニティ・ユース・バンク momo」の長谷川友紀さんと、融資を受けた「NPO 法人こうじびら山の家」の北村周さんの対談です。地域の応援のかたちの一つとして、地域のためにお金を使うこと、そうすることでどう地域が変わるのでしょうか？

会場は津と四日市の2会場。定員は各50名。お申し込みはお早めに。

【津会場】

日 時 3月24日(日) 10:00～11:30

場 所 津センターパレス地下1階
津市まん中交流館(津市大門)

【四日市会場】

日 時 3月24日(日) 14:00～15:30

場 所 じばさん三重 4階視聴覚室
(四日市市安島)

対 象 自分の住む地域が好きな方ならどなたでも

参加費 無料

応募方法 Tel、Fax、E-mailまたはHPにて件名を「3/24 セミナー申込み(参加希望会場名)」とし、氏名(ふりがな)とメールアドレス・電話番号を連絡。
津市市民活動センター窓口(津センターパレス3階)での直接申込みも可。

問合せ先 (特活)津市NPOサポートセンター
Chain Biz プロジェクト

〒514-0027 津市大門7-15

津センターパレス3階

Tel 059-213-7200(片山、黒石)

Fax 059-213-7201

HP tsusimin@zvtv.ne.jp

HP <http://tsunpo.jimdo.com/>

平成25年度 JICA ボランティア募集

「体験談&説明会」

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア等の募集説明会です。実際にボランティアに参加されたOB、OGの体験談発表や活動紹介ビデオ上映、制度説明などを行います。OB、OGやJICA職員との個別応募相談も実施します。

【津会場】

日 時 4月6日(土) 14:00～16:00

場 所 みえ県民交流センター
イベント情報コーナー

【四日市会場】

日 時 4月18日(木) 18:30～20:30

場 所 じばさん三重 4階視聴覚室

対 象 どなたでもご参加ください
(ただし、ボランティア参加資格は20歳以上69歳までの日本国籍をお持ちの方)

参加費 無料

主 催 (独法) 国際協力機構(JICA)

問合せ先 JICA 三重県デスク

Tel 059-223-8003(三輪田)

Fax 059-223-5007

HP jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

HP <http://www.jica.go.jp/>

E-mail jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました！掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

NPO 相談



日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。

Q

任意団体を NPO 法人にするとき、雇用の面から気を付けたいことは何ですか？

A

NPO 法人の場合、気の合った仲間内の気楽な経営になりがちですが、労働基準法が適用されることは一般企業とかわりません。まず、従業員を一人でも雇い入れる場合は、労働基準監督署へ「適用事業報告」を提出する必要があります。常時 10 人以上を雇用する時には、就業規則を作成し、それに付随する書類を提出する義務もあります。職員が 10 人未満の法人の場合は、就業規則の作成は義務ではありませんが、作成しておく方が望ましいでしょう。

また、雇用というからには賃金が発生しますから、最低賃金以上である必要があることはいうまでもありません。仲間内でのわずかなお金の支払いは、「謝礼」であり雇用とは区別されます。

雇用条件に応じて労働保険（労災保険と雇用保険）や社会保険（厚生年金と健康保険）の加入が義務付けられています。保険料は、NPO 法人が負担する部分がある程度あるので注意してください。

労働保険：①労災保険：パートや短期間の雇用であっても必ず加入（保険料は NPO 法人が全額負担）

②雇用保険：一週間の所定労働時間が 20 時間以上で、1 年以上引き続き雇用が見込まれる時には加入（保険料は、NPO 法人と職員の双方で負担）

社会保険：フルタイムの職員及び一日の所定労働時間がフルタイム職員の 3/4 以上で、一ヶ月の所定労働時間がフルタイム職員の 3/4 以上あれば、その職員は被保険者になります。（保険料は、NPO 法人と職員の双方で負担）

認証した特定非営利活動法人 (2013 年 1 月 10 日～2013 年 2 月 9 日認証分)

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

①特定非営利活動法人 三重県生活サポート くらめき
②四日市市桜町 938 番地
③保健、社会教育、まちづくり、子ども、経済活動、消費者
④2013 年 1 月 24 日
⑤理事長 松村 伸一

①特定非営利活動法人 いが創造塾
②伊賀市柘植町 9826 番地
③保健、まちづくり、農山漁村・中山間地域、学術、環境、人権、子ども、経済活動
④2013 年 2 月 4 日
⑤理事長 松村 元樹

①特定非営利活動法人 よすが
②四日市市市町 9 番 8-405 号
③保健
④2013 年 1 月 30 日
⑤理事長 久野 充敏

①特定非営利活動法人 なごみ
②鈴鹿市三日月 1 丁目 19 番 8 号
③保健、職業能力、障がい者の自立と共生社会
④2013 年 2 月 4 日
⑤理事長 今井 将登

「新しい公共ヒント集記念フォーラム」開催のお知らせ

「夢をかたちにするまちづくり～『新しい公共』のヒント集」の完成を記念して、このヒント集を今後どのように県の皆さんの社会生活に生かしていくかを考えるフォーラムを開催します。

- 【日 時】2013 年 3 月 23 日（土）14:00～16:00
【会 場】県庁講堂（津市広明町 13 県庁西側）
（会場へはなるべく公共交通機関でお越しください）
【内 容】・ヒント集の説明（経緯と内容）
・ヒント集の中的事例発表
・パネルディスカッション「新しい公共をみんなのものにするためには」（※パネラーに三重県知事も参加）
【参 加】事前申込不要／参加無料
【主 催】三重県
【協 力】三重県自治会連合会
【実 施】特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター
Tel&Fax 059-363-3539 E-mail ssk21ww@yahoo.ne.jp
三重県環境生活部 男女共同参画・NPO 課
Tel 059-222-5981 E-mail seiknpo@pref.mie.jp



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

- ◆九州電力 CSR ダイジェスト 2012
編集・発行：九州電力株式会社 地域共生本部 総務計画・CSR グループ
発 行 日：2012 年 9 月
- ◆テトラパック株式会社 社会・環境レポート 2012
編集・発行：日本テトラパック株式会社／御殿場テトラパック合同会社
発 行 日：2012 年 9 月
- ◆株式会社伊藤園 S-book SUSTAINABILITY REPORT 2012／CSR 報告書 2012
編集・発行：株式会社伊藤園 CSR 推進部
発 行 日：2012 年 9 月
- ◆日本製粉株式会社 社会・環境報告書 2012
企画・編集：日本製粉株式会社 社会・環境委員会
発 行 日：日本製粉株式会社 広報部
発 行 日：2012 年 10 月



「NPO から寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月 10 日です。掲載希望の方は 10 日までに情報をデータでお送りください。（詳細 6 ページ）

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市 津市市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／三重大学／看護大学／三重短期大学／高田短期大学（桑名市）桑名市市民活動センター（いなべ市）いなべ市市民活動センター（東員町）とういんボランティア市民活動支援センター（四日市市）四日市市市民活動センター／四日市大学（亀山市）亀山市市民協働センター（鈴鹿市）市民ネットワークすずかのぶどう／鈴鹿国際大学／鈴鹿医療科学大学（松阪市）松阪市市民活動センター／三重中京大学（伊勢市）いせ市民活動センター／皇学館大学（鳥羽市）鳥羽 NPO ネットワークセンター・結（志摩市）志摩市市民活動支援センター／横山ビジターセンター（名張市）名張市市民活動支援センター／エコリゾート赤目の森／名張市立図書館／名張青年会議所／名張市総合福祉センター（伊賀市）伊賀市市民活動支援センター／伊賀市立図書館／伊賀青年会議所（尾鷲市）東紀州コミュニティデザイン（明和町）めいわ市民活動サポートセンター（南伊勢町）南伊勢町町民文化会館（紀宝町）紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／第三銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／県下 JA バンク各店／メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関（各県民センター）桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野）／三重県米町庁舎（情報公開窓口）／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／三重県立こころの健康センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／三重県鳥羽パート情報センター／三重県立熊野古道センター／各市町役場／各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下 JA / JA 三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。